

【あおぞら学級】 児童の実態・課題及び授業改善策

	児童の実態・課題	授業改善策
国語	<p>○「話すこと・聞くこと」のめあてを「丁寧な言葉で話す」や「話している人を見て聞く」と具体的にイラストと言葉で伝えることで、意識して「話すこと・聞くこと」ができる場面が増加している。</p> <p>●大事なことを落とさずに聞くことが難しい。</p> <p>●文字をマスの中にバランス良く配置することが難しい児童がいる。</p> <p>●文をつなぐ接続語の語彙が少なく、活用することが難しい。</p>	<p>・話す前に予告して話者に注目させ、自分が「聞きたいこと」、相手が「伝えたいこと」を整理して意識させる。</p> <p>・毎日宿題で取り組み、意識できるようにする。</p> <p>・接続語にはたくさんの種類があることに気付かせる。</p> <p>・授業の様々な場面に「聞く」活動を組み込む。</p> <p>・区分けされたマスを使用する、マスの中で目安の大きさを書き込ませる。</p> <p>・会話の中で、大人が意図的に接続語を使い、意味を理解させる。</p>
算数	<p>○四則計算において具体物の操作を行うことで視覚的に分かりやすくなり、児童が自分で計算することができる場面が増加している。</p> <p>●出題のパターンが変わると、回答ができなかったり、間違えて気持ちをくずしたりすることがある。</p> <p>●加法と減法を実生活に生かすためにどんな力や知識を使えばいいのか迷う場面が見られる。</p>	<p>・同じパターンで展開していくプリントを精選し、問題文に共通している言葉やよく使われている言葉等に注目させ、パターンに気付かせる。</p> <p>・買い物など児童の実生活で考えられる状況に合った学習内容を扱う。</p> <p>・学習の内容が難しくなるごとに、同じパターンで展開していくことが難しくなるため、その都度説明を丁寧に行う。</p> <p>・学期末、学年末の節目に、どんな学習をしたか振り返り、力がついた自覚をもたせる。</p>
音楽	<p>●こだわりや不安が強く、自分の気持ちで参加しない曲がある。</p> <p>●楽器の演奏は、息の強さや運指など難しい点が多岐にわたり、音色にダイレクトに現れるため、演奏が困難な場合が見られる。</p>	<p>・参加を強要せず、参加しないときの約束を決めて、臨ませる。</p> <p>・スモールステップで取り組んだ。補助具を使用する。</p> <p>・引き続き、該当する児童と相談をしながら、少しでも参加できるように環境などを整える。</p> <p>・児童の発達段階に合わせた楽譜を用意する。</p>
図工	<p>○手順の板書を残すことにより、児童が自分で確認する場面が見られる。</p> <p>●手順を聞き取り、活動することが難しい場合がある。</p> <p>●分からないことを表明することに課題が見られる。</p>	<p>・指示を聞き逃しても自分で手順を追えるような、見て分かる板書をする。</p> <p>・自分から「手伝ってください」「教えてください」と言える環境を整える。</p> <p>・ヘルプを要請できたことを褒め、次は自分で指示を聞き取れるような声かけをし、意欲を高める。</p>
体育	<p>●体の部分を意識して体操することに課題がある。</p> <p>●技能に大きな差があり、授業に物足りなさを感じている場合が見られる。</p>	<p>・意識すべきところを触って意識させたり、口頭で伝えたりする。</p> <p>・技能のチェックを単元の始めに行い、段階に合わせたグループ分けをする。</p> <p>・できたときに即時評価し、体の動かし方を実感させていく。</p> <p>・技能別に分けて取り組む時間帯を作り、学習意欲を高める。</p>